

令和元年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名：江之子島文化芸術創造センター

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
I(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	<p>■センターが提示した施設の運営方針や活動方針に則り、enoco の存在感を高め、より多様で多くの人々に活用いただけるような施設の運営がなされているか。</p> <p>■enoco ならではの場作りと運用に努め、主体的な創造活動と交流の機会を提供し、場の活性化がなされているか。</p> <p>■各事業はセンターの方向性・強みづくりに沿った運営がなされているか。</p> <p>■今年度の重点方針「貸館の利用率向上」「場の活性化」に基づき、更なる認知度向上、場の活性化に取り組むとともに、貸館利用の仕組み、空間の使い方等、様々なニーズに対して柔軟な対応を検討、実施しているか。</p> <p>【目標値】 ◇来館者数延べ：110,000 人 ◇文化芸術に関する活動を行った個人・団体等の延べ数：860 件 ◇enoco と創造的活動を協働した個人・団体等の数：230 件</p>	<p>・地域創造大賞の受賞おめでとう。全国的に見て高く評価されている施設であるということ。enoco には、文化による地域活性化やまちづくりにおいて必要な中間支援機能が備わっており、その中で具体的な事業を展開されている。</p> <p>・大阪府は enoco の持つ全国的な意義を理解の上、この施設をどのように活かしていくのか考えること。</p> <p>・プラットフォームの形成支援について、新しいネーミング等を考えても良いかもしれない。</p> <p>・「文化芸術」をどのように活用していくのか。大阪の「文化芸術」のポテンシャルをどう上げるのか、プラットフォームと「文化芸術」をどのようにクロスさせるのかが課題。</p> <p>・色んな事業を着実に広げられ、目標を達成している。今後は、これまでターゲットを絞って実施してきた事業をどう一般化していくのか検討が必要。広く府民に理解を得るための情報発信が重要。それが新たな支援要請に結び付き、一層活動が広がる。</p> <p>・中間支援施設としての在り方や貸館に関するアイデア、文化芸術創造センターとしての在り方、8年目の着地をどのように考えていくのかというのが次年度の重大なテーマになる。</p>	<p>・事業ごとではなく、enoco 全体としての第 2 期指定管理期間の着地点について指定管理者と認識を共有した上で、更にその先の将来も見据え、大阪の文化芸術のポテンシャル向上に enoco がどのように寄与するのか検討する。</p> <p>・大阪府の文化拠点施設として、名実ともに広く認知されるよう、一般府民に向けた情報発信を強化する。</p>	<p>・2 期満了時の着地点を見据えた事業計画を策定する。</p> <p>・SNS 等のツールを用いて一般府民にもわかりやすく enoco の魅力や実施事業について広報を行う。</p>
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>■高齢者、障がい者等に対する利用援助が適切になされているか。</p>	<p>・障がい者配慮が定着してきたということは非常に喜ばしい。</p>	<p>・障がい者配慮に係る情報提供は、全ての広報ツールにおいて徹底する。</p>	

<p>(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果</p> <p>(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p>	<p>①協働の拠点づくりに関する業務</p> <p>ア 文化関係機関とのネットワークの構築と文化情報の収集・提供</p> <p>■ネットワークの拡大に努めるとともに、形成されたネットワークを大阪に根付かせるための在り方を検討しているか。</p> <p>イ 創造的な活動機会の創出等の支援</p> <p>ウ 相談窓口の設置</p>	<p>・相談窓口の設置のみならず、随時相談への対応は、これまで数年間の日々の活動により蓄積された専門性があるからこそ可能であることであり、大変素晴らしい。</p>	<p>・引き続き、府内市町村からの様々な相談に適宜対応する。</p>	
	<p>②フリースペース、ライブラリー兼休憩室等の利活用に関する業務</p> <p>■誰もが自由に利用できる空間として運用されているか。</p> <p>■カフェ機能を活用し来館者の交流等を促すようなプログラム等の集客を高めるイベントを実施する等、利用価値を高め、魅力ある空間として整備・運用されているか。</p>	<p>・近隣の住民に対し、カフェの案内を全戸配布すべき。その後、カフェに来てくれた人をどのように1~4階の事業スペースに引き込むのが大事。</p>	<p>・地下のカフェ等と連携した enoco への誘客施策や広報を検討、実施する。</p>	<p>・カフェ等と連携した集客促進の取組みや広報を実施予定。</p>
	<p>③府所蔵作品活用業務</p> <p>■美術コレクションの積極的な貸出しを行っているか。</p> <p>■対話型鑑賞などを組み合わせた府所蔵美術作品の効果的な展示や enoco の周知活動も兼ねた府内学校への出張展示（コレクションキャラバン）など創造的な活用を行っているか。</p> <p>【目標値】</p> <p>◇作品活用点数：1,000 点</p> <p>◇中規模以上の企画展：3回/年 ※共催含む</p> <p>◇コレクションキャラバン：5校/年</p>	<p>・開館時と状況が変わったことで、enoco の美術館機能を拡充し、コレクションの公開等を強化する必要があるならば、予算や学芸員をつけた上で拡充すべき。府として、コレクションの活用等に係るミッションについては改めて考えていくべきではないか。</p> <p>・enoco にあるアートアーカイブをどのように活用するのかというのは、そろそろ真剣に考えていく時期。</p>	<p>・作品の活用については、その管理に求められる慎重さとのバランスをとりながら、府民の鑑賞機会の創出に努める。</p> <p>・次期指定管理者公募に併せ、抜本的な対応策等についても検討する。</p>	<p>・コレクション活用については、様々な工夫を凝らし、引き続き、活用に努めていく。</p>

	<p>④貸館運営業務</p> <p>■多目的ルームの貸出しにあたり、多様なニーズに対応できるよう、サービスや料金設定（割引プラン等）についての見直しを検討、実施しているか。</p> <p>■わかりやすい募集チラシの作成、発信や、SNS 広告等の活用等、戦略的な広報を行い、利用者の開拓に努めているか。</p> <p>■適正な減免の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用目的の制限や時間的・場所的な制約、または立地場所等、何が阻害要因なのかわからない。 ・事業とリンクして稼働をあげていくというやり方もある。教育事業等を通じて、確実に人材もセンターも成長しており、ポッセに何か教育のプログラム等をやってみないかと投げかけてみるのも良いのでは。 ・施設周辺に集中的に訴求してみる等、ターゲティングの解像度を高めに設定すること。 ・貸館スペースに絵を展示し、付加価値をあげることで料金的な調整、競争ができるのでは。 ・enoco の外観上（掲示板や入口）、壁等を上手に使い、芸術という観点からお洒落なバナーでの貸館告知ができるのではないか。 ・レンタルスペースの情報サーバーには掲載し、貸室を探している人に直接訴求すべき。 ・大阪観光局の MICE 施設の WEB サイトに掲載を依頼すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを明確に設定し、それに応じた集中的な訴求に努める。 ・付加価値をつける等の工夫や施設内外における告知を行う。 ・ネット上の広告掲載ページの見直し等を行い、広報の強化を図る。 ・ポッセ等を活用した貸室での事業展開について検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・館の内外での貸館事業の告知、ターゲットを明確にした広告の強化、付加価値等の検討を行う。 ・ポッセの実践の場としての展開を検討していく。
	<p>⑥自主事業の実施</p> <p>■生涯学習の機会の提供</p> <p>■社会課題解決事業に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトプットを想定してプラットフォームをつくるのではなく、色んなプレイヤーが集まった中から、最適なアウトプットがでてくるというのがアウトプットの成果を最大化する方法。 ・プラットフォーム形成支援事業を実施することが、enoco の PR に有意義につながるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォーム形成支援事業等の自主事業について、enoco 自体、また enoco の本体事業としっかりとリンク付けを行い、相乗効果を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォーム形成支援事業等の自主事業を実施する場合においても、enoco の PR につながるよう広報を行う。

	<p>⑦計画に基づく適切な広報の実施</p> <p>■enocoの認知度向上に向けた取り組みを行っているか。</p> <p>■事業ごとにより効果的な手法を活用し、広報を行っているか。</p> <p>■誰にでもわかりやすい言葉を用いた広報に努めているか。</p> <p>【目標値】</p> <p>◇WEBサイト全体の総セッション数：95,500回/年</p> <p>◇WEBサイト全体のリピーター率：30%</p> <p>◇HP更新頻度：3回以上/週</p> <p>◇メールニュース配信者数：2,600件(者)</p> <p>◇メディア掲載数：50媒体以上/年</p> <p>◇Web掲載数：30媒体以上/年</p>	<p>・Facebookをもっと活用してはどうか。タイムラインにイベントの告知や貸館をしていることも発信すれば良い。</p> <p>・WEBサイトに掲載されているコンテンツの量が多く、施設の案内に入るには分かりにくさがある。各コンテンツの認知度を施設の認知度向上につなげる方法を考えていくべき。貸館利用も含めて、施設への注目度をどう上げていくのか。</p> <p>・ニュースレターはとても丁寧に作られており、良い情報が掲載されていることから、これをenocoのWEBサイトに掲載すればよいのではないか。</p>	<p>・HP上におけるenoco自体の存在感を高めるよう、その構成について再度見直しを行う。</p> <p>・広報の目標値については、設定項目の変更も含めて検討する。WEBが絶対的な情報源ではなくなってきていることから、今後は、年度ごとに効果的なSNSを指標に加え、そのフォロワー数や更新頻度を充実させ、情報発信の強化を図る。</p>	<p>・HPについては、より効果的なページとなるように随時改定を行う。</p> <p>・今年度はFBを指標に加え、SNSを活用した情報発信に努める。また、フォロワー数を目標値として設定する。</p>
<p>II(1)アンケート調査等</p>	<p>■多様な層からのアンケートの回収に向けた効果的な取り組みを行っているか。また結果について、分析及び事後の事業改善につなげているか。</p> <p>【目標値】</p> <p>◇中規模以上の企画展アンケート有効回答数：100以上</p> <p>アンケートの結果プラス評価：80%以上</p> <p>◇貸館アンケート有効回答数：50以上</p> <p>アンケートの結果プラス評価：80%以上</p>	<p>・周辺在住の母親等にヒアリングをするか、モニター制度を導入する等声を拾うやり方をチェンジしないとイケない。</p> <p>・クレームについては、公にして人目にさらされる形で書いてもらい、それに対して公開で回答する擬似交換が一番有効。</p> <p>・ただし、モニタリングやヒアリング等は人手がかかるため、やり方については、検討要。</p>	<p>・近隣の住民等を対象としたモニター利用を試行実施し、その手法の有効性も含めて、利用者の要望への対応方策等を検討する。</p>	<p>・モニター利用の試行実施を年度内に行い、その検証を行うとともに、利用者の要望への対応について検討する。</p>
<p>III(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤</p>	<p>■共同事業体の経営状況、経営規模、健全な財務状況等が確認できるか。(財務諸表により確認)</p>	<p>・事前提供のあった決算書等のみからでは、施設運営を担う上での問題は発見できなかった。</p>		

※評価委員からのコメントがあった項目だけを抜粋して記載